



報道関係各位

2015年8月25日
株式会社 ZMP

ZMP、NVIDIA との協業で自動運転技術開発を加速

ーNVIDIA DRIVE PX でディープラーニングを応用した画像認識システムの開発・販売へー

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)は、エヌビディア合同会社(以下 NVIDIA)と自動運転技術開発における協業を開始致しました。

NVIDIA の協力のもと、ZMP はディープラーニングを応用した画像認識システム開発に着手し、NVIDIA DRIVE PX 向けのソフトウェア販売を目指します。また、NVIDIA DRIVE PXをZMPの自動運転車開発プラットフォーム RoboCar®シリーズへ搭載し、自動運転技術開発者向けに販売を開始致します。

エヌビディア合同会社、日本代表 兼 米国本社副社長、大崎真孝氏は次のように述べています。「この度は ZMP 社との協業を大変嬉しく思います。NVIDIA DRIVE PX は自動運転車向け開発プラットフォームで、自動車のディープ・ニューラル・ネットワークに搭載することで、従来のコンピュータビジョン技術が強化されます。NVIDIA はディープラーニングを加速するため、データセンター向けハイパフォーマンス・コンピューティング・プラットフォーム、NVIDIA Tesla を提供し、高性能な GPU でのトレーニングが可能です。データセンターからクライアントまで共通した GPU テクノロジーを搭載したプラットフォームで、自動運転車や高度なロボティクスの実現へ向けて貢献しています。NVIDIA DRIVE PX 搭載の RoboCar シリーズの提供で、自動運転の実現に向けて今後大きな前進となることを確信しています。」

当社は、今回の NVIDIA との協業により、自動車メーカー/部品メーカーにおける自動運転技術開発の加速を支援致します。

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP 営業部 TEL: 03-5802-6901 / FAX: 03-5802-6908 E-Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区

代表取締役社長: 谷口 恒



RoboCar® 1/10



RoboCar® MV2



RoboCar® PHV



RoboCar® MiniVan



CarriRo®

「Robot of Everything 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転技術開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ及びセンサ・システムの開発・販売、②移動体メーカー(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行 RoboTest®, ③物流支援ロボット CarriRo®の開発・販売を行っています。2015年5月にはDeNAと人の移動を楽にする「ロボットタクシー(株)」を、8月にはソニーモバイルコミュニケーションズと自律型無人航空機を用いた産業用ソリューションを開発・提供する「エアロセンス(株)」を設立するなど、ZMPは世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。